

「中国における農村観光について－四川省ヒ県における農家楽を事例として－」

国際観光学科 チョウ ビンセン

中国政府は2010年の目標として、国内観光に重点を置いて、特に農村観光の開発に力を入れようとしています。

中国は農業大国であり、農村観光を第一次産業、第二次産業と第三次産業を統合させようと試みています。農業経営の範囲が拡大することによって、農村の経済力が強まることで、農村の雇用創出と農民の所得収入の向上に役立つものです。

今回の研究では、中国の典型の農村観光である「農家楽」に関する資料を収集するとともに、中国「農家楽」の発祥地である四川省ヒ県の事例を取り上げました。農家楽の現状及び発展状況を調査することで、「農家楽」が地域住民への影響力について明らかにしました。また農家楽の現状による問題点を指摘して、提案することを目的としています。

今回の調査を通じ、農家楽は当地域の農民たちに経済的効果をもたらし、都市と農村の交流も取っていることがわかりました。しかし、農家楽の経営上の問題点に対しては、単に飲食・レクリエーションを中心とする観光項目に留まっているため、観光客は農村の文化を深く味わえないという問題が発生しています。

また、地方政府と経営者の日常的なコミュニケーションが足りないこと、また専門的な知識を持っている人材の育成不足が深刻な問題となっています。

論文作成に当たって、「農家楽」の関連資料を収集した時に、現在、中国では農家楽の数が増加していることがわかりました。ただし、多くの農民たちは「農家楽」を盲目的に開発したことで、地域の文化が失われ、地域ブランド単一化の現象が起きています。

行政は「農家楽」に対して、かなり細かな政策を策定しましたが、政策と現実のギャップが存在しているのも事実です。例えば、多くの都市住民は都市近郊に農家楽を経営しており、その結果それらの地域の農家楽の競争が激化するなどの問題が起きています。

私は、今回の受賞を受けて、今後も中国の農村観光について研究し続け、現地調査により、より広い範囲で、各種類時期別の農家楽の実態を把握し、農家楽を経営しない地域住民の反応も調査し、経営者と利用者についてより詳細な実態についての調査を行いたいと考えています。